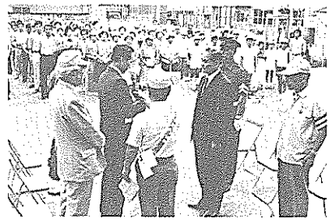
130人が交通安全パレード

シートベルト着用など訴え


知事のメッセージを受ける田岡収入役ら

交通事故を撲滅しようと九月二十一日、市内中心部の後免商店街で交通安全パレードが行われ、市民やドライバーに交通安全を呼びかけました。

この日は全国交通安全運動（九月二十一日～三十日）の初日で、パレードの前には、中内知事からの「県下を挙げて交通事故を防ごう」というメッセージの伝達式も行われました。

このあと、一日南国署長に委嘱された観光コンパニオンの久米由岐子さん（植野）、宮本南国署長、田岡収入役を先頭に、岡豊小学校の鼓笛隊六十人や婦人会、商工会婦人部、事業所の安全運転管理者ら約百三十人が商店街をパレードしました。

参加者は途中、チラシを配って「シートベルト・ヘルメットの着用」や「子供、お年寄りを事故から守ろう」と呼びかけました。

《市民の声》

消毒にもちょっとした気配りを

明るい豊かな地域作りは、小さな気配りから始めましょう。

近年、田園に人家が多く進出してきました。小さな子供や病人、お年寄りもいる家庭もあり、人家の近くでの田の消毒には、ちょっとした気配りをお願いします。

まず、近くの人家には消毒することを告げましょう。そして、干し物や窓を閉めたことを確認してから始めましょう。留守の家でも窓が開いていたら、外から簡単に閉められるところは、閉めてあげましょう。

お互いに感謝しながら、明るい住み良い人間関係の一環となるよう、相手の身になったちょっとした心遣いで、住み良い南国市を作りましょう。

（一市民）

主婦たちに人気

農業高校の公開講座

生涯教育を進めるため、広く県民に学習の場を設けていこう――と、県教育委員会が今年度から行っている学校開放の公開講座が九月十四日から、「誰でもできる家庭園芸」と題して農業高校で始まりました。

第一回目は、農業高校の北村先生の、ハッポウスチロールのトロ箱を使って簡単にできる水耕栽培について話を聞きました。この方法では、害虫もつきにくく肥料のムダもないと言うことで、みずみずしく育ったサニーレタスやトマトの苗を見ながら、皆さん感心していました。この他、スイカやナスの上手な実のつけ方、ホルモン剤の利用法、おいしいスイカの選び方など、聴講者の皆さんはメモを取ったり質問したりして、熱心に勉強しました。

参加者はほとんどが主婦で「庭に空き地がありますので、さっそく作ってみます」「とても勉強になりました。次回も必ず聴きに来ます」と、なかなか好評でした。

県教委の方は、「受講希望者は定員の倍近くあり、今後はもっと多くの方が参加できるよう努めたい」とのこと。

現在、生涯教育の必要性が言われる中、このような身近な学習の場への要望が高まっているようです。

園芸講座を受ける主婦ら

親子クイズ 143

ご家庭で話し合って答えてください。答えは、この広報に出ています。

■もんだい・九月二十一日、百三十人の人たちが、○○○○パレードを行いました。

■しめきり・10月15日

■あて先・〒783　南国市大埔甲2301　南国市役所内広報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには必ず、住所・部落名・氏名・年齢・職業を書いてください。

■賞品・特賞千円＝三人、残念賞（記念品）＝五人

第142回正解者発表（敬称略）

（応募総数54通）

■答え・⑩月⑲日

■特賞・千円＝三人

山本正仁（下末松）

服部由香（比江）

依光美加（吉市）

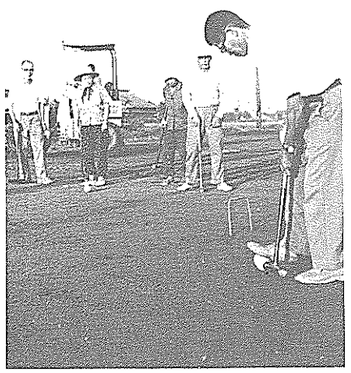
■残念賞・記念品＝五人

門田幸俊（植田）村田義彦（十市）高橋博人（大埔）黒木真理（後免町）吉田礼子（浜改田）

早朝ゲートボールにハッスル

三畠のお年寄りたち

夜も明けたばかりの午前五時過ぎ、長岡三畠の部落運動場には、ゲートボールに張り切るお年寄の元気な姿がいっぱい。


早朝から練習するお年寄りたち

この運動場は五年ほど前にでき、運動会や豊年祭りなどに利用してきましたが、ゲートボールのブームとともに地元の方が整地をし、現在二面のコートができています。そして、今年の一月からは毎朝練習することに決め、冬の寒い日でも夜明けとともに欠かさず練習に励んでいます。

「強いチームでも、一つの打ちそこないで負けることもあり、とてもおもしろいスポーツです」とおじいちゃん。「ゲートボールを始めてからは、ご飯もおいしいし体の調子もとても良い」とおばあちゃん。

参加しているほとんどの方は、朝食を済ませて農作業に出かけるとか。仕事にスポーツにと、皆さんとても充実した生活を送っているお年寄りたちでした。

南国歌壇

刈稲の香り懐かし畦道に
昔を忍べば遠雷近くに
下野田　徳久まさみ

秋立ちて老女が抜きし夏草は
夫が奥津城彼岸近きて
十市　山本憲彰

竹の葉に雀描きし母の帯
陽にあてやれば羽ばたく如し
立田　島田美津子

物憂き夜窓辺にしきりなく蟲よ
亡夫の変身あわき錯覚
三畠　小笠原綾子

コンバインの音に負けじと声高く
話す農夫は汗拭いつつ
下野田　竹村虎治

正座してしずかにおりぬ年ふるく
わが生きてきしをかえりみにつつ
浜改田　清水愛川

南国柳壇

先に来た墓参の主を考える
植田　吉本其梅

石佛の雨にめれてもほほえみて
立田　北村幸江

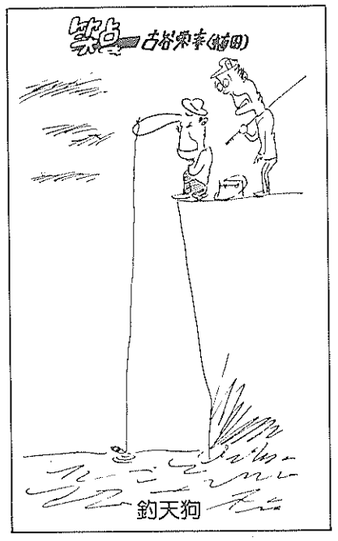
衣替えの駐在巡査男前
岡豊町　橋田井波

お上手心返せば嘘ばかり
十市　武市日出志

南国俳壇

米びつを拭いて新米移しけり
傘ささぬでもよき程の萩の雨
遅れ来てひそかに使う秋扇
これからも翔ぶことあるまい　葛の花
サイレンの余韻　すいすい赤蜻蛉
藤椅子きしきし　燦忌　昏れなずむ
図書館を出てよりつづく萩の雨
争いの言葉の終りまんじゅしゃげ
曼珠沙華群れてもさみし前うしろ

高石杜伎（柿の実会）
大崎暢子（〃）
井上さえ（〃）
徳弘妙子（大篠俳句教室）
杉本賀美（〃）
山崎光子（〃）
楠瀬秀子（花樗俳句会）
岡田昌子（〃）
岡田寿子（〃）



短歌・川柳・俳句の投稿希望の方へ

この欄への投稿は自由です。ただし、連続して投稿されても毎回掲載されるわけではありません。一度投稿されると、新しい方は係の名薄に記入し、次回からは係から投稿の依頼をします。

選者はいませんが、季節や時期などにふさわしくない場合は掲載されないことがあります。

送り先：〒783　南国市大埔甲二三〇一　市役所内広報委員会まで。